

学校法人庄内神社学園 庄内こどもの杜幼稚園

令和3年度 学校自己評価結果公表シート

1. 本学園の保育理念

学校法人庄内神社学園は、教育基本法及び就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律に従い、学校教育及び保育を行い、神社神道の精神に基づく学校教育と保育を行ない、次代の日本を担うにふさわしい人材を育成することを目的とする。
(学園寄附行為：第1条)

2. 本年度、重点的に取り組む目標や計画

- ・キャリアパス改定
- ・プロジェクトを活用した職員業務や保育改善
- ・園内ミーティングの運営改善
- ・食育の活性化

3. 評価項目

評価項目	結果
○教育課程・指導 【食育の活性化】 ・栄養士の保育参加など、食育活動を推進する	・学期途中からではあるが、月一回の園庭食育は実施できた。また次年度の給食日の追加や栄養士が抜けても大丈夫なように調理員の人数を増加させた。 ・園のホームページでのブログ更新の回数を増やした。
○組織運営等 【キャリアパスの改定】 ・それぞれの役職ごとに求められる能力(社会性・専門性)を、園の考えと職員の視点を織り交ぜながら明確化 【プロジェクトを活用した職員業務・保育の改善】 ・プロジェクトを活用して職員業務・保育の改善を行う 【園内ミーティングの運営改善】 ・園内ミーティングの運営改善を行う	・キャリアパスを改定するために、新任職員の困りごとを確認した。また学期ごとの振り返りでは、年度初めに立てた社会性や専門性をもとにした自己評価を活用した。 ・中堅職員以上対象に、園内でリーダー研修を実施した。 ・プロジェクトを活用することにより、園内の様々な課題に対して取り組むことができた。 ・効率的な議論ができるような、終礼や学年会議等の園内ミーティングの細かな改善を行った。
○研修(資質向上の取組) 【主体的受講を目指す改善】 ・主体的に学ぶことについての意味を考えて、自主的に学ぶテーマを考える(園内・園外)	・職員が企画した園内研修を実施することができた。 これからも全体と個別に主体的に学べるような機会の検討を進める。
○情報提供 【ホームページ改定や保護者への情報提供】 ・スマホに対応した変更 ・保護者への家庭保育援助を促す。	・より自分達で更新しやすいホームページのリニューアルが出来た。 ・クラス懇談会等を、コロナ禍前のように実施して保護者への家庭保育の援助の一助になるようにしたが、まだ出来ることはあるように感じる。

4. 財務の状況

公認会計士より、現在のところ問題ないとの報告を受けている。

5. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
おおむね良好であった	・昨年度の振り返りをもとに今年度計画した事は、おおむね良好に実施できた。 ・保護者アンケートでも、おおむね良好な評価を得ることが出来た。

6. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
教育課程・指導	理念やそれに基づく計画が、現場でより反映して実践されるよう、現場と計画が連動される方策を会議の改善も含めて検討
組織運営等	公開保育や園内公開保育を活用した園内の保育改善 予算を見ながらも、業務改善のさらなる促進

7. 学校関係者の評価

中学校では3つの力(目的をもつ、人とつながる、自己コントロール)をつけて高校に上がってもらう。この力を、乳幼児期につけることは大事なことである。職員の中でリーダーシップを身に付けることは大事。地域の結束が希薄になっている。庄内こどもの杜幼稚園から小学校に入学して来た子は馴染めている。保護者アンケートの結果からも寄りそえていることを感じる。リーダーシップ研修に興味を持った。先生が生き生きしているの、子ども元気に過ごしています。ポートフォリオを見て、自分の子どもが集団の中でも意見が言えていることが嬉しかった。小学校にも安心して行かせられる。